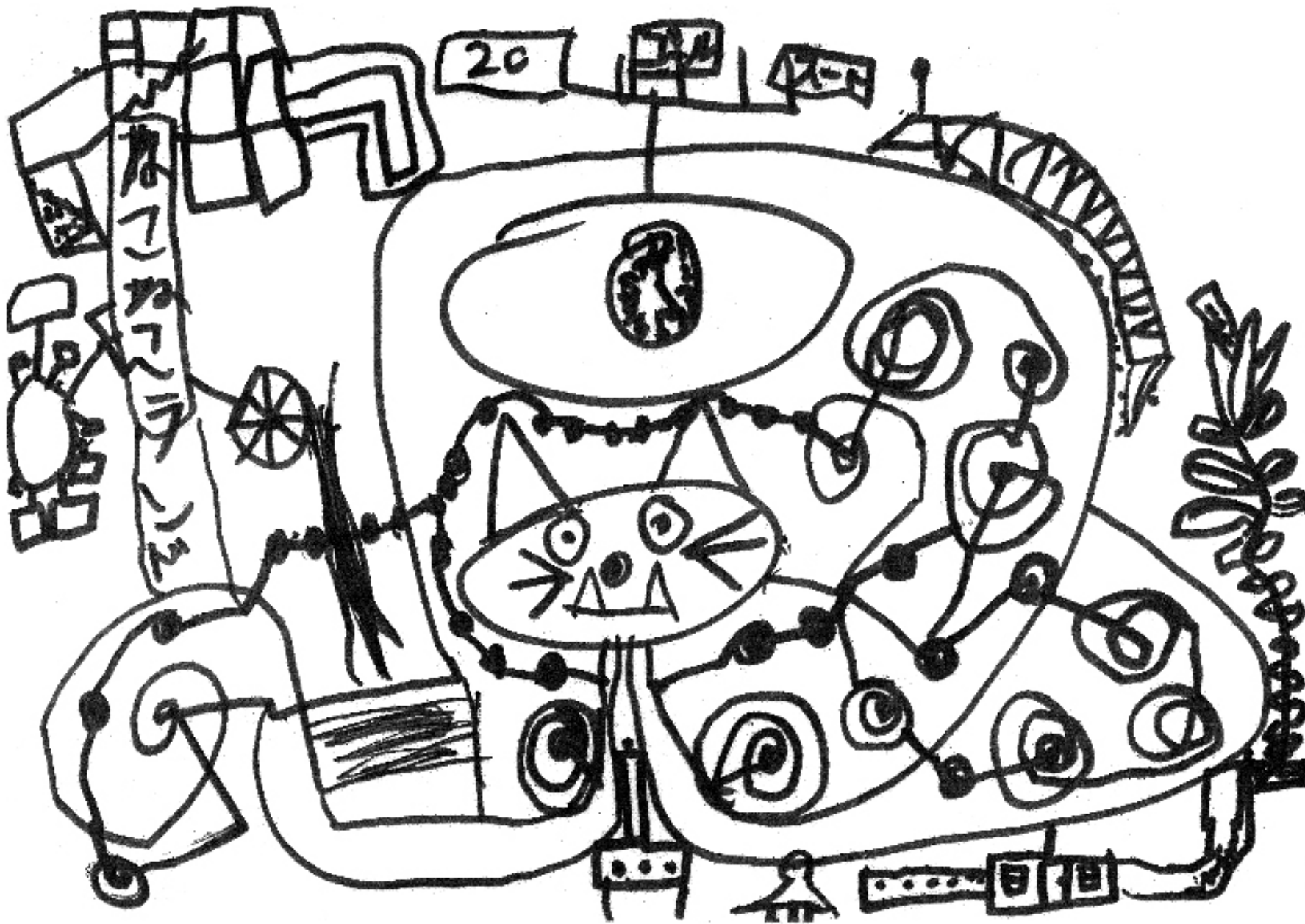


編集人：ぶくぶくの会 〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2A (総務)
TEL 06-6317-5598、FAX 06-6317-0936 Mail: so-mu@puku-2.com URL: www.puku-2.com
代表：馬垣安芳 編集長：上田かおり 1部200円
年間購読料：個人会員2000円 広報会員(3部)5000円
法人会員1口(5部)10000円 賛助会員(1部)10000円
振替口座00940-0-161341
「まねき猫通信」



題字：
塩澤 文男
(しおざわ・ふみお)

とくしゅう 特集：オリパラ2020 バリアフリー政策提言-2
りれい えいせい わたし ある 私が歩いてきた道②-辻本伊公子-4
おおさか ことこう そう と なに おおさか ことこう そう と なに いしづか なおと 大阪都構想で問われたことは何か?-石塚直人-5
フィリピン の しょう しやう ん どう こく さ い れん たい 障がい者運動と国際連帯-7



ねこねこランド

絵：トーヤ (かなみのもり)

トリの眼・ムシの目・ニャンコの目

「私の子どもたちへ」。生きています。鳥たちが生きて飛びまわる空を。生きています。魚たちが生きて泳ぎまわる川を。生きています。君たちが生きて走りまわる土を。あなたに残しておいてやる。やれるだろうか。父さんは…。笠木透の詩情は沖繩の声と共に屹立した。橋下の心には永遠に届かない。透と徹、これを「雲泥の差」と言う。(ハギ)

5月17日「辺野古新基地建設を許さない沖縄県民大会」に3万5千人が集まった。これは会場となった野球場の収容者数の上限であった。実際には5万人を遥かに越えた。沖縄県の人口が142万3千人だから、大阪府に換算すれば31万人が集まったことになる。5月17日「大阪府を5つの特別区に再編する」ための住民投票が行われ、大阪維新の会が推進した同案は「反対多数」で否決、橋下徹は政界引退を表明した。「多数」といつても一百万票の僅差で、約70万人が「大阪都構想」と橋本への支持を表明した。大阪市の分割と消滅は阻止したが、沖繩と比べれば余りにもお粗末。「ほろ苦い勝利」だった。5月17日「平和の暦コンサート」が岡山市で行われ、800人の観衆と故・笠木透ゆかりのミュージシャン達が、彼とヒート・シーガーを追悼して3時間半の時間を共有した。最後のアンコールは「私の子どもたちへ」。生きています。鳥たちが生きて飛びまわる空を。

5月17日「辺野古新基地建設を許さない沖縄県民大会」に3万5千人が集まった。これは会場となった野球場の収容者数の上限であった。実際には5万人を遥かに越えた。沖縄県の人口が142万3千人だから、大阪府に換算すれば31万人が集まったことになる。5月17日「大阪府を5つの特別区に再編する」ための住民投票が行われ、大阪維新の会が推進した同案は「反対多数」で否決、橋下徹は政界引退を表明した。「多数」といつても一百万票の僅差で、約70万人が「大阪都構想」と橋本への支持を表明した。大阪市の分割と消滅は阻止したが、沖繩と比べれば余りにもお粗末。「ほろ苦い勝利」だった。5月17日「平和の暦コンサート」が岡山市で行われ、800人の観衆と故・笠木透ゆかりのミュージシャン達が、彼とヒート・シーガーを追悼して3時間半の時間を共有した。最後のアンコールは「私の子どもたちへ」。生きています。鳥たちが生きて飛びまわる空を。

2020 オリンピック・パラリンピック政策提言

さいさくていげん
DPI 日本会議事務局 委員長 委員
内閣府障害政策委員会 委員

さとし
佐藤 聡



オリパラ 2020 から

バリアフリー法改正へ



▲報告する佐藤聡さん

私は9歳で障害者となって、小学4年から中2まで入居施設で暮らしました。総勢約100人の共同生活で、プライバシーが全くなく、8人部屋で壁がガラスなのはびびくりしました。外出も年に3回、実家に帰るだけでした。

自分がダメになっていくのがわかりました。知らない他人に会

施設暮らしから 自立生活運動へ

私は9歳で障害者となって、小学4年から中2まで入居施設で暮らしました。総勢約100人の共同生活で、プライバシーが全くなく、8人部屋で壁がガラスなのはびびくりしました。外出も年に3回、実家に帰るだけでした。

5月16日、「オリンピック・パラリンピック政策提言報告」(主催: アクセス関西ネットワーク、新長田勤労市民センター)が行われました。第一部では、佐藤聡さんが基調講演を行い、第二部では、「関西の名所ええとこ・しんどいとこ」をテーマに、グループワークを行いました。2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決まりました。これをチャンスとしてバリアフリー法のバージョンアップまで進めるという計画です。提言内容について(3ページ)もご覧ください。(文責: 編集部)

私にとって「オリパラプロジェクト」の始まり

甲子園球場を 変えたぞ!

自立生活をしていました。この自立生活は、自分の都合で生活ができるとてもいい仕組みだと思いました。彼との出会いがきっかけで自立生活運動と関わることができました。

経験が少ないために、買い物でも人が怖くてレジでお金を払えなくなりました。それで、14歳の時に施設を出て地元の中학교に入学。普通の生活に戻りました。高校卒業後、関西の大学に入学したのですが、頸椎損傷の学生と出会いました。彼は学生寮に住み、30人の友人学生ボランティアに介護の仕方を教えて交代で来てもらって自立生活をしていました。この自立生活は、自分の都合で生活ができるとてもいい仕組みだと思いました。彼との出会いがきっかけで自立生活運動と関わることができました。

「初めて人間になった」 気がしたアメリカ滞在

ところが、2013年にアメリカで野球を観に行こうと、ヤンキーススタジアムの車いす席をネット調べてみると、なんと68カ所! 席総数は、2300席です。バックネットには車いす席が果てしなく続き、上の階にもあります。

さらにチケット予約は、日本の様に車いす専用の受付電話ではなく、普通の人と同じようにどの窓口でも、WEBからでも買えるのです。こうした対応

は、甲子園球場です。昔の甲子園球場の車いす席は3塁側に1カ所12席だけでした。しかも檻に囲まれていて、動物扱いだと思っていた。2007年から3年かけてリニューアル工事が始まることを知ったの

で、阪神電鉄と交渉を続けた結果、車いす席は、球場全体で11カ所に増え合計31席に。観戦場所も、内・外野席、1塁側・3塁側・バックネット席など、選べるようになりました。特に良かったのは、前席の

人が立ち上がった後もフィールドがちやんと見えるように視界が確保される「サイトライン」を外野席に確保できたことです。この交渉経験は、成果を残すことができたし、「うまく行っ

は、ナショナルスタジアムも同じです。アメリカには、ADA Standards (アメリカ障害者法の基準) があり、総座席の0.5%以上の車いす席・サイトラインの確保などの基準が、明記されていました。一方、日本のバリアフリー法は、座席数についてもサイトラインについても数値基準がないのです。基準がないから各球場でバラバラの対応になっているのです。つまりバリアフリー法をバージョンアップし、明確な基準を定めれば、どこへ行っても差別なく観戦・観覧できるのだと気づきました。

アメリカでは、高速バスも乗れます。車高の高いユニバーサルタクシーも普及しており、気軽に乗れることにも驚きました。一方、日本はどうでしょう? リフト付き空港リムジンバスは全国で1台も走っていません。現行バリアフリー法では、空港リムジン・長距離バスは、2010年まで対象外だったために普及しませんでした。国土交通省は、2020年までにリフト付き高速バス導入を進めるとしていますが、目標が25%という低さです。アメリカでは、車いすどころか、バスも電車もタクシーも何でもみんなと同じルートで自由に乗るのが、当たり前なのです。ちゃんと人間扱いしてくれる。私はアメリカで初めて人間になった気がしました。

こういふ社会を作るために、①バリアフリー法のバージョンアップと、②差別解消法の見直し(2019年)が重要です。差別解消法は4つの課題を抱えています。これらを解決して実効性を高めるために、準備を進めています。

オリパラプロジェクト スタート

ただし、法律改正は大変な事業です。どうやったらバリアフリー法を改正できるか？ 考えていたときに、「東京オリンピック開催決定！」のニュースが流れました。オリンピックとなると、競技場も改修するし、交通バリアフリー化も課題とな

るはず。チャンス到来です。「東京オリンピック・パラリンピック」を使って高い基準でのバリアフリー整備を進めていけば、バリアフリー法の改正も実現できる！と確信しました。そこでまず、提言をまとめることにしました。なかまを募ったところ全国から50人が集まってくれました。第1次提言は、「競技場」です。新国立競技場は設計が始まっています

で、競技場から取り組むことにしました。①東京体育館 ②代々木第一体育館、③日本武道館、④有明コロシアムに行き、みんなバリアフリーチェックをしました。第1次提言は昨年11月にまとめました。第2次提言「交通アクセス」も、ほぼまとまりました。続く第3次提言は「情報・コミュニケーション」。第4次提言は「レストラン・ホテ

ル」。第5次提言は「接遇」で、最終的には「一般住宅」についても基準作りを進めます。「IPCアクセシビリティガイド」にならって



▲リフト付 高速バス
す。全ゆる分野を網羅しており、「世界標準」

となるべき素晴らしい内容です。「東京オリパラ」組織委員会、独自にバリアフリー整備のための「Tokyo2020アクセシビリティガイドライン」を作成します。昨年からの検討を始

め、4月までに作成し、IPCに提出して認可を受けます。これが大会の基準となります。から、大会後のバリアフリー法改正にとっても重要です。ところが、当初検討委員会は、日本のバリアフリー法と東京都のまちづくり条例を基礎にして検討をしていたので、良いものができずありません。そこで「IPC基準を基礎にしてガイドラインを作るべきだ」と国会議員に訴えるため、急遽、3月4日に院内集会を行いました。これには250人が集まり、関西からもたくさん来てくれました。



『競技施設に対する提言』のポイントはこちら！

アクセス関西ネットワーク 副代表 鈴木千春

DPI日本会議バリアフリー部会が作成した『第1次提言 競技施設のユニバーサルデザインに対する提言』の「コンサー

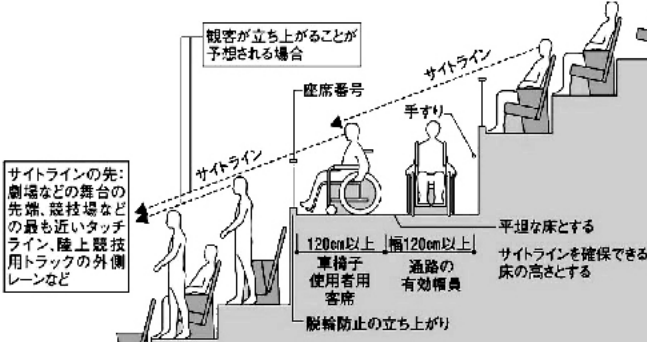
トホールや競技場」にかんする内容では、注目すべきポイントは以下のとおりです。

・車いす用席は選択できるように2カ所以上の異なる位置に分散して設ける。

・舞台にも車いすで上がれるように段差を解消する。

・一般トイレの男女それぞれに簡易多機能トイレを設置する

・聴覚障がい者への配慮として情報提供保障をすすめる。



車椅子利用者のための観覧席は、前後の客席や観覧席の位置、高低差を考慮し競技スペースや舞台へのサイトラインを確保する (資料：国土交通省)

・車いす用席を0.5〜1.0%設置する。

・競技場などの車いす席では、一番盛り上がるところで前席者も立ち上がり(それ自体には

・車いす用席を0.5〜1.0%設置する。

・車いす用席を0.5〜1.0%設置する。

・競技場などの車いす席では、一番盛り上がるところで前席者も立ち上がり(それ自体には

・車いす用席を0.5〜1.0%設置する。

・競技場などの車いす席では、一番盛り上がるところで前席者も立ち上がり(それ自体には

・車いす用席を0.5〜1.0%設置する。

・競技場などの車いす席では、一番盛り上がるところで前席者も立ち上がり(それ自体には